

# PROGUARD

スーパープロガードTP

スーパープロガード遮熱TP

超高耐候性2液弱溶剤系反応硬化型  
無機塗料

# スーパープロガードTPとは？

スーパープロガードTPは特殊無機系成分を主体として、オルガノポリシロキサン系樹脂と変性シリコンオリゴマーからなる2液反応硬化型弱溶剤系無機塗料です。無機系成分に有機系特殊成分を変性することで、無機系成分の特長である優れた耐候性・耐汚染性と、有機系成分の特長である耐アルカリ性・耐屈曲性の両方をあわせもった、画期的な無機塗料です。

有機系特殊成分を含有することにより、塗膜の光沢(艶)は優美で、美しい仕上がりを形成します。(ただし、艶消しはできません。)

このようにスーパープロガードTPは無機の特長を活かし、さらに有機をハイブリッド化した塗料で、従来型フッ素樹脂塗料を超える耐候性能・耐汚染性能を有する超高性能無機塗料です。＜超熱タイプも有ります。＞

## 驚きの超高耐候性!!

2液反応硬化により化学的に安定したシロキサン結合構造を形成します。

塗膜の劣化要因である熱や紫外線から建物を保護し、従来の塗料に比べメンテナンス周期が飛躍的に伸びます。

耐候性

耐汚染性

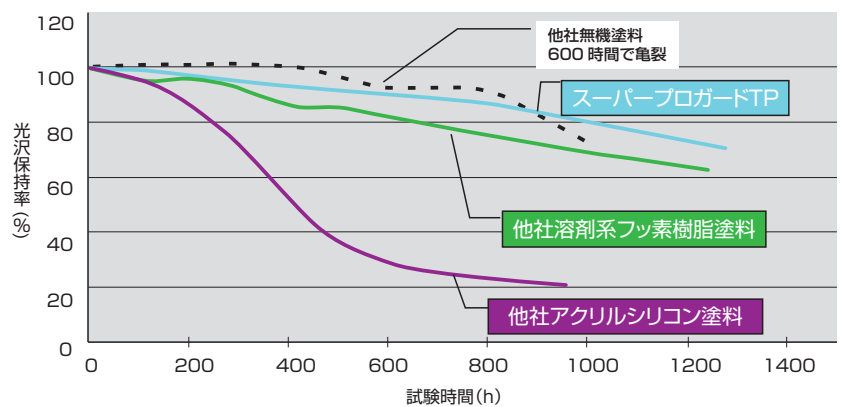
色彩鮮明

低臭性

作業性良好

スーパープロガードTPの光沢保持率(ツヤ)の低下が最も遅く、1000時間経過時点で80%を確保していることから、スーパープロガードTPの塗膜が長期間の耐候性を有していると言えます。

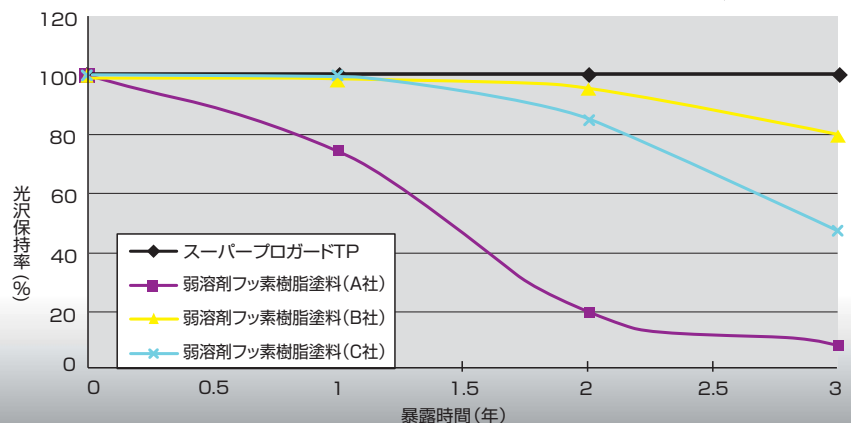
促進耐候性試験(メタルハライドランプ式)



※試験時間 200時間=実年数5年の暴露期間に相当→1000時間=25年間に相当

スーパープロガードTPの光沢保持率(ツヤ)は3年間ほとんど低下することなく保持している。他社弱溶剤フッ素樹脂塗料(3種類)については、3年間でツヤの低下が確認できた。このことからスーパープロガードTPの塗膜が、実際にフッ素樹脂塗料の塗膜と同等以上の高耐候性を有していると言えます。

宮古島屋外暴露(光沢保持率)



## 低汚染性で綺麗!!

無機塗膜の特長である「硬さ」、「緻密性」により優れた耐汚染性を発揮します。塗膜表面に汚れが付着しにくく、また塗膜表面の劣化もしにくいため、耐汚染性が長期間持続します。



## 性能一覧

試験内容		結果	試験方法
鉛筆硬度(引掻き)	塑性変形	H	JIS K 5600 5.4(80℃×7日間乾燥後)
	凝集破壊	3H	
容器の中での状態		異常なし	JIS K 5658 4.3
乾燥時間	23℃(半硬化)	3時間以内	JIS K 5658 4.4
	5℃(半硬化)	4時間以内	
ポットライフ	23℃×5時間	異常なし	JIS K 5658 4.5
塗膜の外観		異常なし	JIS K 5658 4.6
腫べい率		0.90以上	JIS K 5658 4.7
60°鏡面光沢度		80以上	JIS K 5658 4.8
耐屈曲性(タイプ1)		2mm合格	JIS K 5600 5.1(80℃×3日間養生後)
重塗り適合性		異常なし	JIS K 5658 4.1.1
耐酸性	5%硫酸水	異常なし	JIS K 5600 6.1(7%の浸せき法による)(80℃×3日間養生後)
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液	異常なし	JIS K 5600 6.1(7%の浸せき法による)(80℃×3日間養生後)
耐湿潤冷熱繰り返し性(30サイクル)		異常なし	JIS K 5658 4.14(下塗りとして弊社微弾性フィラーを使用)

## 標準施工仕様

素地調整	クラック、漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。
------	----------------------------------------------------------------------------

## 塗り替え仕様

工程	材料名	塗装回数	標準塗布料(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(%)
下塗り	ストロングサーフTU	1~2	0.3~0.7kg/m <sup>2</sup> /回	1時間以上	ウールローラー、リシガン	3~7%(清水)
上塗り	スーパープロガードTP/遮熱TP	2	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> /回	5時間以上7日以内	ハケ、ウールローラー、スプレー	塗料用Aシンナー 0~20%

## 窯業系サイディング

工程	材料名	塗装回数	標準塗布料(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(%)
下塗り	ストロングプライマーTU	1	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> /回	2時間以上3日以内	ハケ、ローラー、スプレー	0%
上塗り	スーパープロガードTP/遮熱TP	2	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> /回	5時間以上7日以内	ハケ、ウールローラー、スプレー	塗料用Aシンナー 0~20%

※表層剥離している・塗膜がない、または劣化がひどい場合

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(%)
下塗り	ストロングプライマーTU	1	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> /回	2時間以上3日以内	ハケ、ローラー、スプレー	0%
中塗り	ストロングサーフTU	1	0.3~0.7kg/m <sup>2</sup> /回	1時間以上	ウールローラー、リシガン	3~7%(清水)
上塗り	スーパープロガードTP/遮熱TP	2	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> /回	5時間以上3日以内	ハケ、ローラー、スプレー	塗料用Aシンナー 0~20%

## 金属製サイディング

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(%)
下塗り	遮熱ストロング錆止めプライマー	1	0.16kg/m <sup>2</sup> /回	6時間以上7日以内	ハケ、ローラー、スプレー	エボキシシンナー 0~10%
上塗り	スーパープロガードTP/遮熱TP	2	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> /回	5時間以上3日以内	ハケ、ローラー、スプレー	塗料用Aシンナー 0~20%

※上記の各数値は全て標準値です。※下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅を生じることがあります。  
 ※規定の配合比、希釈率を守り良く攪拌してからご使用ください。※高圧洗浄後は十分な乾燥を行ってください。

## 荷姿

スーパープロガードTP	主剤10kg(18ℓ石油缶) 各色調色(常備色は無し) ツヤ有 硬化剤2kg(角缶)	30~40㎡/セット
スーパープロガード遮熱TP	主剤10kg(18ℓ石油缶) ツヤ有 硬化剤2kg(角缶)	30~40㎡/セット
ストロングサーフTU	1液18kg(18ℓ石油缶)	25~60㎡/缶
ストロングプライマーTU	1液14kg(18ℓ石油缶)	70~140㎡/缶
遮熱ストロング 錆止めプライマー	主剤15kg(18ℓ石油缶) グレー色粘稠液 硬化剤3kg(4ℓ角缶) 褐色粘稠液	112㎡/セット

## 性能・性状

項目	主剤(各色)	硬化剤
主成分	オルガノ ポリシロキサン系樹脂	グリシジル含有 シリコンオリゴマー
配合比(重量比)	5	1
粘度(mPa·s,25℃)	3200	20以下
固形分(wt%)	65	56(有効成分)
外観	着色液体(各色)	淡黄色透明液体
危険物分類	第4類第2石油類	第4類第2石油類
無機成分 (固形分中,wt%)	約52	

## 施工上の注意事項

- 主剤と硬化剤を指定の比率で混合し、電動ミキサーで均一にかく拌してから使用してください。主剤と硬化剤の混合比率が不正確であったり、指定以外の塗料を混合したり、かく拌が不十分であった場合、本来の正しい塗膜の機能が得られませんので必ず守ってください。
- 過希釈の場合、カブリ・ハジキ・光沢低下などの不具合を生じる場合がありますので、所定の希釈率を必ず守ってください。  
また、同一現場で一度定めた希釈率は、可能なかぎり同一にしてください。
- 塗装後1~2日は、塗装表面に若干の粘性が残りますので、粉じんなどの付着にご注意ください。尚、上塗り性、塗膜性能に支障はありません。
- 気温5℃以下、湿度85%以上、降雨、降雪、強風が予想される場合は、塗装作業を中止してください。
- 塗膜乾燥過程で降雨にあった場合、艶引け・汚染の原因となる場合があります。降雨が予想される場合は、適切な養生を行うなどして直接雨があたらず様処置を講じてください。
- 雨が直接かからない面や笠木などの水切りが施されていない部位など、建物の形状により低汚染性が十分に発揮できない場合があります。

- 高温(40℃以上)及び低温(-5℃以下)での保存は避けてください。
- 蓄熱しやすいサイディングボードや軽量モルタル、ALCパネルなどに塗装する場合は、熱による膨れが生じることがありますので、施工時には入念な下地調整を行ってください。
- ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りと仕上がり肌の違いによる色相差が生じることがあります。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 塗装用具などの洗浄の際、塗料用シンナーまたはラッカーシンナーを用いてください。
- 吸い込みが激しい下地の場合は、ストロングサーフTU又はストロングプライマーTUを2~3回塗布してください。
- 旧塗膜がシリコン系、フッ素系塗料や活膜ウレタン系の場合には、密着しない可能性がありますので、必ずテスト施工を行った上でご使用ください。
- 「塗料」を保管する場合には必ず直射日光の当たらない、湿気の少ない屋内に保管してください。スーパープロガードTP、スーパープロガード遮熱TPは溶剤型塗料ですので保管や施工時の換気、火気には十分注意してください。

## 取扱い安全注意事項

- 取扱い作業中、乾燥養生中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(マスク、眼鏡、手袋など)を着用し、身体に材料が付着しないよう保護すること。
- 塗装の目的以外に使用しないこと。一業務用
- 希釈の際に混合する清水以外は加えないこと。
- 取扱い後は洗顔、手洗い、うがいを充分に行うこと。

- 眼に入った場合、直ちに多量の流水で洗い、医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合、直ちに拭き取り、石けんと水で入念に洗い流すこと。皮膚に異常を感じた場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合、空気の清浄な場所で安静にすること。異常を感じた場合は、医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合、無理に吐かせず直ちに医師に連絡し、診察を受けること。
- 製品を使用した後は密栓し、屋根のある冷暗所にて保管すること。

※詳細な内容については安全データシート(MSDS)をお読み下さい。

# PROGUARD



株式会社 岩建ホームテック

<http://www.iwaken-ht.co.jp>

本社：〒344-0066

埼玉県春日部市豊町2-10-14

TEL:0120-38-3970

FAX:048-884-8332



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。